

スポーツキャリアサポート戦略（SCS戦略）

（前年度予算額：31,547千円）
29年度予定額：37,606千円

資料7-3

背景

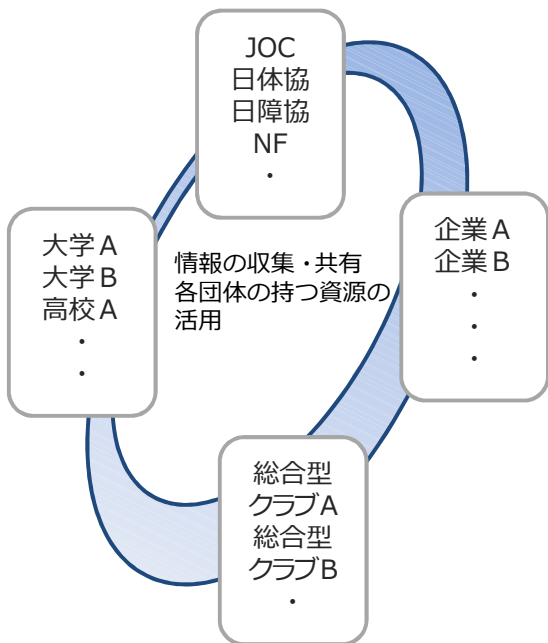
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、国は、スポーツ団体と連携を図りながら、アスリートの競技力向上を推進。
- 一方、現役引退後のキャリアパスについて、アスリート自身も不安を抱えているが、現役時代から計画的に準備する者は少なく、競技団体によるサポートが十分ではない。また、**国、独法、スポーツ団体の支援も個別に行われている状況。**
- このような状況を改善し、アスリートが安心してスポーツに専念できるよう、**アスリートのキャリア形成に関わる団体・機関等が連携・協働して支援するシステムを構築。**

事業概要

- 国として、関係者が協働する基盤となるコンソーシアムを構築・運営するとともに、先進的なプログラムに取り組む
〔スポーツ団体・大学・企業・スポーツクラブ等の関係者が連携・協働して支援するコンソーシアムを構築・運営〕
〔引退後のキャリア形成支援として、アスリートと企業等とのマッチングを実施〕

コンソーシアム

趣旨に賛同した多様な主体が「コンソーシアム」を組み、アスリートを一体的にサポート



取組

アスリートキャリアフォーラムの開催

- アスリートのキャリア形成に関わる者が一堂に会する場を設け、現状の課題等を共有

アスリートの
ライフステージ

育成期

ジュニアアスリートの学習等支援

- JOCエリートアカデミー生等の学習支援やキャリア教育等を実施

アスリート
活動期
(引退移行期)

アスリートと企業等とのマッチング支援

- アスリートと企業等のマッチングを行う場を提供。
- アスリートが今まで目を向けてこなかった職業等とのマッチングを行うことで、新たなロールモデルとなるような職域を開拓。

引退期

引退アスリート雇用先調査

- 引退したアスリートの雇用先について調査等を実施。